

## 国際PBL(CEP:クロスカルチャーエンジニアリングプロジェクト)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2020年02月18日 ～2020年02月28日	タイ	キングモンクット工科大学 トンブリ校 ラオス国立大学	・システム理工学専攻 ・修士1年生、学部4年生、 学部3年生	(芝浦工業大学) 学生20名、TA4名、教員4名 (キングモンクット工科大学 トンブリ校) 学生20名、TA2名、教員1名、 職員2名 (ラオス国立大学) 教員1名	間野 一則(電子情報システム学科)、 長谷川 浩志(機械制御システム学科)、 除村 健俊(電子情報システム学科)、 井上 雅裕(電子情報システム学科)



図1 PBL開始

大学院理工学研究科システム理工学専攻の国際PBL授業「クロスカルチャーエンジニアリングプロジェクト (Cross-culture Engineering Project; CEP)」をタイ・バンコク KMUTTと実施した。この授業は、システム工学・システム思考に基づく課題設定、解決策・プロトタイプを提案する10日間の教育プログラムである。テーマは、社会的問題(交通、環境、食品ロス、その他)を取り上げ、要求条件、課題解決方法の提案、ビジネスモデル提案、プロトタイプによる可視化提案を行う。2回のデザインレビューを通じて内容を高める。この他、フィールドトリップ・工場見学等を実施し、現地のSDGsの取組や課題に対する新たなビジネスモデルの提案(インプロビゼーション教育)にも挑戦した。また、PBLの評価・アセスメントとして相互評価やコンピテンシー評価を実施した。



図2 ブレインストーミング



図3 デザインレビュー



図4 フィールドトリップ